

緊急地震速報活用避難訓練

平成25年2月20日（水）お昼休み終了直前に地震・津波の避難訓練を行いました。
今回は児童のみでなく全教職員にも実施日時を告げずに完全抜打ちの形で実施しました。

～ 今回の想定 ～

- ・土佐湾沖で震度7強の地震が発生。大津波の恐れあり。
- ・緊急地震速報アナウンス・・・「震度7 18秒後・・・カウントダウン・・・3 2 1 0」
- ・地震継続時間・・・120秒（効果音使用）
- ・平成25年2月20日（水） 13時30分開始

1 カウント0で地震が発生。それまでに安全な場所で防御姿勢をとります。



2 建物内からは避難指示の後、一次避難場所の校庭への避難が始まります。



- 3 一次避難場所に集合。確認が取れたクラスから二次避難場所の学校裏山に避難します。
避難時には「押さない」「走らない」「しゃべらない」の原則がありますが、今回は建物の外に出たら各避難場所まで「走る」という条件で実施しました。



- 4 二次避難場所の裏山に続く避難道（上り）でも体力のない低学年は左側を歩く。高学年や体力のあるものは右側を走るといふ「エスカレーター」方式をとりました。いつも低学年が先に行く避難道で渋滞が発生していたためです。



5 全員の避難完了に要した時間は6分11秒、前回の6分26秒より時間が短縮しました。

集合完了報告に時間がかかり6分台でしたが裏山避難場所への全員の到着完了は5分台でした。

今回の避難訓練の反省では行動は素早くできたが、おしゃべりがあって少し騒がしくもっと真剣さが必要との意見が多数ありました。

今後も意見をもとに、しっかり目標を決めて知識と練度を高めていきます。

